

Cisco ISE ソフトウェアパッチ

ソフトウェアパッチのアップグレード

新しい Cisco ISE リリースを、そのリリースに対応するパッチの有無にかかわらずアップグレードできます。Cisco ISE リリースのパッチをすでにインストールしている場合は、[Patch] オプションを使用して、現在のリリースのパッチのみをアップグレードできます。

次のいずれかのオプションを選択できます。

- フルアップグレード
- 分割アップグレード

Note

Cisco ISE 展開での相互排他性により、一度に 1 つのアップグレード方法のみが有効になります。これにより、パッチインストールまたはアップグレードプロセス中の競合を防止できます。

- [アップグレードとロールバック (Upgrade & Rollback)] ページで [フルアップグレード (Full Upgrade)] または [分割アップグレード (Split Upgrade)] オプションを使用すると、[管理 (Administration)] > [システム (System)] > [維持 (Maintenance)] > [インストールされたパッチ (Installed Patches)] ページの [インストール (Install)] オプションが無効になります。
- 逆に、[インストールされたパッチ (Installed Patches)] ページの [インストール (Install)] オプションを選択すると、[アップグレードとロールバック (Upgrade & Rollback)] ページで [フルアップグレード (Full Upgrade)] または [分割アップグレード (Split Upgrade)] オプションが無効になります。

フルアップグレード オプションを使用したパッチのアップグレード

フルアップグレードは、次のようなプロセスです。

- Cisco ISE 展開の完全なアップグレードを実行します。
- このプロセスにより、パッチの完全なアップグレードを提供します。
- 展開を、分割アップグレードプロセスよりも短時間でアップグレードします。
- すべてのノードが同時にアップグレードされるため、アプリケーションサービスを使用できなくなります。

フルアップグレード オプションを使用してパッチのアップグレードを実行するには、次の手順を実行します。

Step 1 Cisco ISE GUIで、[管理 (Administration)] > [システム (System)] > [アップグレードおよびロールバック (Upgrade & Rollback)] の順に移動します。

- Step 2** [アップグレードとロールバック（Upgrade & Rollback）] ページで、
- [アップグレード（Upgrade）] をクリックします。
 - [パッチ（Patch）] をクリックします。
 - [フル（Full）] をクリックします。
 - [初期化（Initialize）] をクリックします。
- Step 3** [Welcome] ページで [Let's Do It] をクリックして、アップグレードワークフローを開始します。
[前提条件の確認（Prerequisite Checks）] ページが表示されます。
- Step 4** [パッチバンドルをどのように取得しますか？（How do you want to fetch Patch Bundle?）] で、次のいずれかのオプションを選択します。
- [リポジトリから選択（Choose from Repository）]: リポジトリまたはローカルディスクからパッチのアップグレードファイルをアップロードできます。[Patch] ドロップダウンリストから、パッチのアップグレードバンドルを選択します。
 - [今すぐアップロード（Upload Now）]: ローカルディスクからファイルを選択またはドラッグアンドドロップします。アップロードできるのは .tar ファイルのみ、許可される最大ファイルサイズは 4 GB です。
- Step 5** [Start Preparation] をクリックします。
- Cisco ISE は、選択したワークフローのすべての前提条件を検証し、展開レポートを生成します。
- Cisco ISE は、パッチのアップグレードプロセス中に次のことを確認します。

事前チェックリスト	説明
リポジトリの検証	リポジトリがすべてのノードに設定されているかどうかを確認します。
パッチバンドルのダウンロード	パッチバンドルがダウンロードされているかどうかを確認します。
展開の検証	展開のノードが同期しているか進行中かを確認します。
システム証明書の検証	各ノードのシステム証明書を検証します。
信頼ストアでの管理証明書チェック	管理証明書が信頼ストアに存在するかどうかを確認します。
サービスまたはプロセスの失敗	サービスまたはアプリケーションが実行中か障害状態かを確認します。
PAN のフェールオーバーの検証	PAN の高可用性（HA）が展開に対して無効になっているかどうかを確認します。

いずれかのチェックが失敗した場合は、問題を解決し、[失敗したチェックの更新（Refresh Failed Checks）] をクリックして再実行します。

レポートの有効期間は 3 時間です。この時間内にパッチをインストールしてください。

- Step 6** [Next] をクリックして [Upgrade Nodes] ページに進みます。
- Step 7** [Upgrade Nodes] ページで [Start] をクリックします。
- [ノードのアップグレード (Upgrade Nodes)] ページで、各ノードの進行状況とステータスを確認します。
- セカンダリノードからプライマリノードのアップグレード進行状況を、およびプライマリノードからセカンダリノードのアップグレード進行状況をモニターできます。
- CLIを使用してパッチをインストールする場合、このアップグレードウィザードを使用してアップグレードプロセスを開始または追跡することはできません。
- Step 8** [ノードのアップグレード (Upgrade Nodes)] ページで [次へ (Next)] をクリックして、すべてのノードが正常にアップグレードされたかどうかを確認します。
- アップグレードが完了したら、[概要 (Summary)] ページで展開の診断アップグレードレポートを表示およびダウンロードできます。
- Step 9** [終了 (Finish)] をクリックして、ウィザードを終了します。
- アップグレードの概要レポートと関連する詳細を表示してダウンロードできます。

分割アップグレードオプションを使用したパッチのアップグレード

分割アップグレードは、次のようなマルチステッププロセスです。

- Cisco ISE 展開でのパッチのアップグレードを可能にします。
- アップグレードする Cisco ISE ノードを選択できます。
- アップグレード中も他のサービスを利用できます。
- ノードをバッチに分割し、各バッチを順番にアップグレードすることで、ダウンタイムを限定できます。
- 信頼性の高いアップグレードをサポートしますが、フルアップグレードよりも時間がかかる場合があります。

分割アップグレードオプションを使用してパッチをアップグレードするには、次の手順に従います。

- Step 1** Cisco ISE GUIで、[管理 (Administration)] > [システム (System)] > [アップグレードおよびロールバック (Upgrade & Rollback)] の順に移動します。
- Step 2** [アップグレードとロールバック (Upgrade & Rollback)] ページで、
- [アップグレード (Upgrade)] をクリックします。
 - [パッチ (Patch)] をクリックします。
 - [分割 (Split)] をクリックして、
 - [初期化 (Initialize)] をクリックします。
- Step 3** [Welcome] ページで [Let's Do It] をクリックして、アップグレードワークフローを開始します。

Step 4 [ノードを選択 (Select Nodes)] ページで、現在の反復でアップグレードするノードの横にあるチェックボックスをオンにします。



Note

- デフォルトでは、システムによってプライマリ PAN がパッチアップグレードの最初の反復で選択されます。プライマリ PAN とともに、複数の PSN ノードとプライマリまたはセカンダリ MnT ノードを選択することもできます。ただし、最初の反復にセカンダリ PAN と両方の MnT ノードを含めることはできません。
- 最初の反復でプライマリ PAN 以外のノードを選択すると、プロセスが 2 つのバッチに分割されます。システムによって最初のバッチでプライマリ PAN がアップグレードされ、残りの選択されたノードも同時にアップグレードされます。
- 分割アップグレードプロセスでは、反復ごとに最大 16 ノードを選択します。

[Next] をクリックします。

Step 5 [パッチバンドルをどのように取得しますか? (How do you want to fetch Patch Bundle?)] で、次のいずれかのオプションを選択します。

- [リポジトリから選択 (Choose from Repository)]: リポジトリまたはローカルディスクからパッチのアップグレードファイルをアップロードできます。[Patch] ドロップダウンリストから、パッチのアップグレードバンドルを選択します。
- [今すぐアップロード (Upload Now)]: ローカルディスクからファイルを選択またはドラッグアンドドロップします。アップロードできるのは .tar ファイルのみ、許可される最大ファイルサイズは 4 GB です。

Step 6 [Start Preparation] をクリックします。

Cisco ISE は、すべての前提条件を検証し、展開のレポートを生成します。

Cisco ISE は、アップグレードプロセス中に次のことを確認します。

事前チェックリスト	説明
リポジトリの検証	リポジトリがすべてのノードに設定されているかどうかをチェックします。
パッチバンドルのダウンロード	パッチバンドルがダウンロードされているかどうかを確認します。
展開の検証	展開のノードの状態（同期しているか進行中か）を確認します。
信頼ストアでの管理証明書チェック	管理証明書が信頼ストアに存在するかどうかを確認します。
システム証明書の検証	各ノードのシステム証明書の検証を確認します。
サービスまたはプロセスの失敗	サービスまたはアプリケーションの状態（実行中か障害状態か）を確認します。
PAN のフェールオーバーの検証	展開に対して PAN HA が無効になっているかどうかを確認します。

[展開して表示 (Expand to Show)] アイコンをクリックすると、各ノードとそのステータスに関する追加情報を確認できます。

[情報 (Information)] アイコンをクリックすると、各コンポーネントの詳細を確認できます。

生成されたレポートの有効期間は 3 時間です。有効期間内にパッチをインストールする必要があります。

最初の反復中、システムではすべてのノードでローカルの事前チェック ([リポジトリの検証 (Repository Validation)]、[バンドルのダウンロード (Bundle Download)]、[システム証明書の検証 (System Certificate Validation)]、[サービスまたはプロセスの失敗 (Services or Process Failures)]) を実行します。後続の反復では、これらのチェックが選択したノードでのみ実行されます。

Step 7 いずれかのチェックが失敗した場合は、問題を解決し、[Refresh Failed Checks] をクリックしてチェックを再実行します。[次へ (Next)] をクリックします。

Step 8 [Upgrade Nodes] ページで [Start] をクリックします。

[ノードのアップグレード (Upgrade Nodes)] ページで、全体的なアップグレードの進行状況と、展開内の各ノードのステータスを確認できます。

プライマリ PAN のアップグレード進行状況をセカンダリ PAN から監視したり、セカンダリ PAN をプライマリ PAN から監視したりできます。

CLI を使用してパッチをインストールする場合、このウィザードを使用してアップグレードプロセスを開始または追跡することはできません。

Step 9 [Upgrade Nodes] ページで [Next] をクリックし、すべてのノードが正常にアップグレードされたかどうかを確認します。[終了 (Finish)] をクリックします。

システムによって [ノード選択 (Node Selection)] ページにリダイレクトされ、次の反復のためにノードを選択できます。

アップグレードプロセスが完了したら、[概要 (Summary)] ページで展開の診断アップグレードレポートを表示およびダウンロードできます。

パッチインストールの確認

展開内のすべてのノードにパッチがインストールされていることを確認する必要があります。ノード間でパッチレベルが一致しない場合、複製の失敗やサービスの中断など、システムが不安定になる可能性があります。すべてのノードに正しいパッチバージョンが反映されるまで、アップグレードプロセスは完了したとは見なされません。

すべてのノードにパッチが正しくインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

Step 1 Cisco ISE GUI で、[管理 (Administration)] > [システム (System)] > [メンテナンス (Maintenance)] > [パッチ管理 (Patch Management)] に移動します。

Step 2 リストでパッチを見つけ、その横にあるオプションボタンをクリックします。

Step 3 [ノードステータスの表示 (Show Node Status)] をクリックします。

Step 4 ダイアログボックスが表示され、各ノードのステータスが表示されます。すべてのノードに [インストール済み (Installed)] と表示されていることを確認します。

あるノードにパッチがインストールされておらず、ステータスが [未インストール (Uninstalled)] と表示される場合は、CLI パッチインストールプロセスに従って、そのノードにパッチをインストールします。

ソフトウェアパッチのロールバック

パッチをロールバックするには、以下の手順を実行します。

- Step 1** Cisco ISE GUIで、[管理 (Administration)] > [システム (System)] > [アップグレードおよびロールバック (Upgrade & Rollback)] の順に移動します。
- Step 2** [パッチのロールバック (Patch Rollback)] をクリックして、パッチのロールバックバージョンを表示します。
- Step 3** [初期化 (Initialize)] をクリックします。
- Step 4** [Welcome] ページで [Let's Do It] をクリックして、ロールバックワークフローを開始します。
- Step 5** [Prerequisite Checks] ページで、[Start Preparation] をクリックします。
Cisco ISE はすべての前提条件を検証し、展開のレポートを生成します。
- Step 6** (オプション) 前提条件のチェックリストを参照用にダウンロードするには、[Download Report] をクリックします。
- Step 7** いずれかのチェックが失敗した場合は、問題を修正し、[失敗したチェックの更新 (Refresh Failed Checks)] をクリックして再実行します。[Next] をクリックします。
- Step 8** [ノードのロールバック (Rollback Nodes)] ページで [ロールバックの開始 (Start Rollback)] をクリックします。

システムによって、プライマリ PAN を除く、展開内のすべてのノードが同時にロールバックされます。他のノードが終了すると、プライマリ PAN がロールバックされます。

[ノードのロールバック (Rollback Nodes)] ページでは、ロールバックの全体的な進行状況と、各ノードのステータスを確認できます。

プライマリ PAN がロールバックされている間、セカンダリ PAN からロールバックプロセスをモニターできます。その後、セカンダリ PAN がロールバックされている間、プライマリ PAN からモニターできます。
- Step 9** [Next] をクリックします。

ロールバックプロセスが完了したら、[概要 (Summary)] ページで展開の診断レポートを表示およびダウンロードできます。

[Finish] をクリックして、ウィザードを終了します。

 Note

-
- Cisco ISE リリース 3.4 パッチ 1 アップグレードの [管理 (Administration)] > [システム (System)] > [メンテナンス (Maintenance)] > [パッチ管理 (Patch Management)] ページで [インストール (Install)] オプションを使用した場合、[パッチ管理 (Patch Management)] ページの [ロールバック (Rollback)] オプションのみを使用することを推奨します。
 - [パッチ管理 (Patch Management)] の [インストール (Install)] オプションを使用してパッチをインストールした場合、[アップグレードとロールバック (Upgrade & Rollback)] ページで [パッチロールバック (Patch Rollback)] オプションは使用しないでください。
 - [アップグレードとロールバック (Upgrade & Rollback)] ページで、[フルアップグレード (Full Upgrade)] または [分割アップグレード (Split Upgrade)] オプションを使用した場合、パッチのロールバックには、同じ [アップグレードとロールバック (Upgrade & Rollback)] ページで [パッチロールバック (Patch Rollback)] オプションを使用する必要があります。
 - この違いにより、パッチアップグレードに使用される方式に応じて適切なロールバック手順が保証され、展開の安定性と一貫性が維持されます。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。